

1. 高速横浜環状南線 (圏央道「金沢～戸塚」) の位置づけ

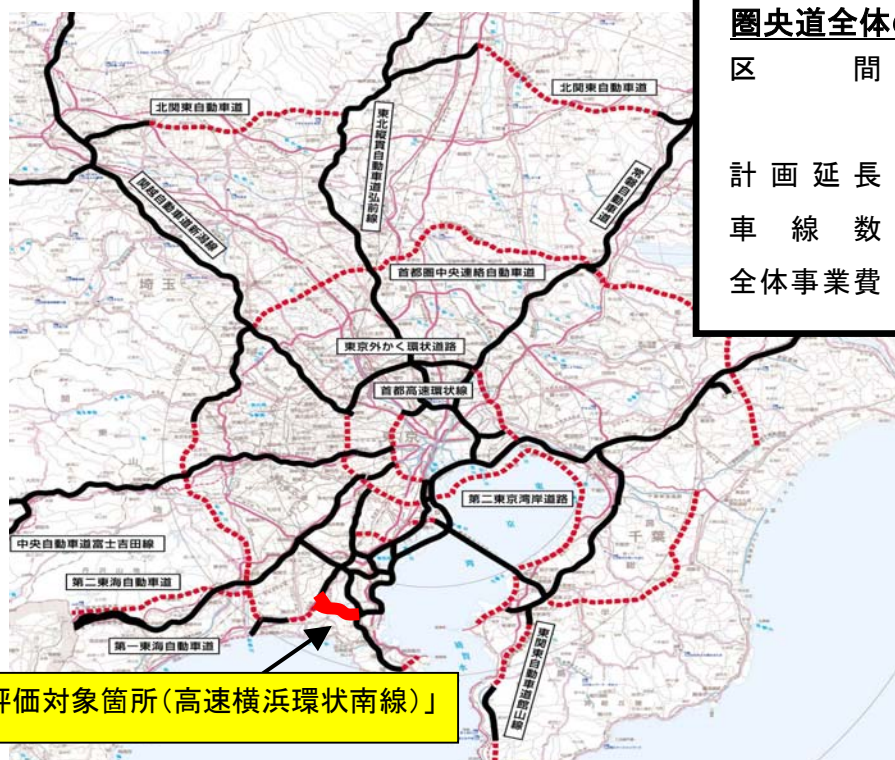
(1) 圏央道の目的と概要

<目 的>

■3環状9放射の道路ネットワーク形成

- ・首都圏全体の道路交通の円滑化
- ・多極分散型の地域構造を形成するための交通体系の構築
- ・災害時の基幹ネットワークの構築

首都圏中央連絡自動車道（圏央道）は、東京都心から半径およそ40～60kmの位置に計画されている延長約300kmの高規格幹線道路であり、首都高速中央環状線、東京外かく環状道路等と一体となって、首都圏の幹線道路の骨格となる3環状9放射の道路ネットワークを形成し、東京都心部への交通の適切な分散導入を図り、首都圏全体の道路交通の円滑化、首都圏の機能の再編成等を図る上で極めて重要な役割を果たす路線です。



圏央道全体の計画概要

区 間	自) かながわけんよこはまし 神奈川県横浜市 至) ちばけんきさらづし 千葉県木更津市
計 画 延 長	L=約300km
車 線 数	4～6車線
全体事業費	約3.4兆円

図1-1 圏央道全体計画図

〈目的〉

- ・ 横浜市南部地域の混雑緩和
- ・ 上大岡、戸塚などの地域拠点間の連絡強化
- ・ 周辺地域の活性化

今回の再評価対象区間は、下記の区間です。

凡例

(Solid Black Line)	供用中
(Red Dashed Line)	再評価対象区間
(Red Squares)	事業中

「再評価対象箇所(高速横浜環状南線)」

高速横浜環状南線の計画概要

区 間 自)神奈川県横浜市金沢区釜利谷町
かながわけんよこはましかなざわくまりやちょう

至)神奈川県横浜市戸塚区汲沢町
かながわけんよこはましとつかぐみざわちよう

計 画 延 長 L=約8.9km

車 線 数 6車線

全体事業費 約4,300億円

再評価対象区間
平成7年4月 都市計画決定 L=約8.9km
(釜利谷JCT～戸塚IC(仮称))

釜利谷IC(仮称)
栄IC・JCT(仮称)
公田IC(仮称)
釜利谷JCT

土工部 基盤部 掘削・トンネル部 トンネル部

- 2 -